

目標達成計画

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	『家族の意見を聞きながらどのように取り組むべきか検討することを期待する』との内容である。現状、積極的に面会にお越しになるご家族の方達や双方共に意見交換や相談ができるご家族とは関係性が築けている。預けたきりでなかなか面会に来ないご家族との関係性については、築くことが難しい。預けた親の様子に関心のない方や自分達の生活が中心となり預けた親の事まで考えられない、または時間的に割けない方等。それでもホーム内での生活を知って欲しいとの思いもあり、事業所通信、個人別のおたより、ブログや電話にて近況を伝えるなど一方向ではあるが情報提供にも尽力している。運営推進会議に於いても、日頃よりご意見を頂ける関係性の方のみの参加に留まっている。介護計画書等の書類は郵送で交わすことはせず、ホームに足を運んでもらい半ば強制的に面会の機会を設けているケースもある。その際にも意見や意向を確認するも「特にありません」「今のままで」「任せます」等と委ねられるケースに於いては、現状、打開策は見いだせていない。私たちの知らない昔からの親子の関係性については、どうする事も出来ないのが実情である。せめて、お預かりしている利用者だけでも、笑顔多く生活して欲しいと考え支援している	目標をどこに置くべきか。 過去にも運営推進会議への参加について次のステップへの課題に挙げられたことがある。呼びかけは再三行っており、また、ご家族が就労されている世帯もある為、時間帯を変更し19時からの開催を試行したりと参加者を増やすための試みは行っている。だが、実情は平日の昼間だと町内会や包括支援センターの職員やご高齢のご家族の方の参加は得られる。だが、現役就労世帯の方たちの参加は見込めず、夜間の時間帯にすると町内会や包括支援センターの参加は少なくなり、また、ご高齢のご家族の方の参加も得られない。かと言って、現役就労世帯の方たちの参加が増えたわけではない。意見を聞き取る場所として、運営推進会議にたくさんのご家族が参加してくれる事が最良であるのかもしれないが、現実には難しい目標である。家族アンケートの中には、職員さんは話しやすいとのご意見をいただいている事から 新目標:面会回数の増加	・今年は、開設10周年という事もあり、各種行事をできる限りご家族巻き込み型で開催 ・個人別おたよりの書き方を工夫 ・面会時には日頃の様子を話すと共に、昔の本人の様子などより掘り下げて話をする ・話しやすい環境設定と職員の関り	1年

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。

